

知識は 旅をする



千葉県立東部図書館だより
2019年3月

第64号



「成田山花園より東和田村の望景」楊堂玉英画
（「菜の花ライブラリー」千葉県デジタルアーカイブ）

★開館20周年記念事業ご参加のお礼

このたびは、東部図書館開館20周年記念事業にご参加いただき、ありがとうございました。皆様の調査研究や生涯学習、また、日常生活の様々な課題にお応えできるよう努めてまいります。（千葉県立図書館ホームページ「開館20周年記念事業のご紹介」）

http://www.library.pref.chiba.lg.jp/information/east/post_145.html

★千葉県博図公連携事業 巡回パネル展示「写真でつづる千葉県と鉄道」

2月22日(金)～3月6日(水) 場所:交流ラウンジ

千葉県立中央博物館の春の展示「千葉の鉄道物語—線路が拓いた『観る・住む・運ぶ』—」に関連した写真展を行います。「鉄道と世相・時代の一面」、「消えた鉄道・失われた路線」など、千葉県における鉄道のあゆみを写真で振り返ります。



★ガラス展示コーナーのご案内

「特集・高橋順子—第3回旭いとおか文芸賞によせて—」

1月19日(土)～4月18日(木)



★利用者アンケートを実施しました

平成30年10月23日～11月4日の間、来館された皆様に利用者アンケートをお願いしました。お忙しい中アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。当号の挟み込みに結果を掲載しています。

★資料紹介コーナーのご案内

「“平成”をふりかえる」

2月22日(金)～4月18日(木)

お問合せ:千葉県立東部図書館
〒289-2521 旭市八の349
TEL:0479-62-7070
FAX:0479-62-7466

ホームページ URL

<http://www.library.pref.chiba.lg.jp/>

携帯電話サイト URL

<http://www.library.pref.chiba.lg.jp/m/>

携帯電話機のQRコードリーダーで

アクセスできます→



↑PC・スマホ等の方はこちらへ



Q. どこの図書館の写真でしょうか？



「世界の図書館 美しい知の遺産」

ジェームズ・W.P.キャンベル著
 ウィル・プライス写真
 河出書房新社 2014 [O102/17]

古代メソポタミアから現代までの世界の図書館建築様式の歴史について、188館を300点もの写真・図版で紹介している、とても美しい本です。

粘土板や巻物、冊子など時代により変化していく本の形と、それらを保管し閲覧する図書館の歴史や概要を、1館ずつ建築史家の視点から詳しく書かれています。

表紙を飾るプラハのストラホフ修道院の写真から始まる、美しく芸術的な図書館の外観や内装写真の数々には、つい時間を忘れて見入ってしまうことでしょう。



「認知症予防におすすめ図書館利用術 2 読書・朗読は脳のトレーニング」

結城俊也、好本恵著 日外アソシエーツ 2018 [O15/58/2]

図書館をご利用の皆様朗報です。なんと図書館を利用することで、知らないうちに認知症予防ができているかもしれません。

長年リハビリテーションに携わっている著者が、図書館を使っただけの脳トレや身体づくり運動などを紹介しています。朗読は様々な認知症予防効果だけでなく、誤嚥^{ごえん}予防にもなるそうです。また、共著の元NHKアナウンサーによる、実践的な朗読の楽しみ方も興味深いです。

ぜひ、ウォーキングを兼ねて、図書館にお越しください。

前作「認知症予防におすすめ図書館利用術 フレッシュ脳の保ち方」[O15/58]も所蔵しています。

「図書館情調」

日比嘉高編 皓星社 2017 [9186/76]

この本は、図書館に魅入られた作家・詩人たちによる〈図書館文学〉のアンソロジーです。図書館の由来を大きく変えたファンタジー、千葉県S倉にあるかもしれない地下図書館のこと、権威的な図書館と明るく安楽で気持ちの良い図書館を対比した詩など、バラエティに富んだ図書館やそこに居る人々の物語を楽しめます。戦前の作品に登場する図書館は、現在の公共図書館とは全く違った場所に感じられるかもしれません。巻末の解説では、未収録の作品や図書館の歴史も知ることができます。



「シリアの秘密図書館」

デルフィーヌ・ミヌーイ著 藤田真利子訳
 東京創元社 2018 [O1022/2]

シリアの首都ダマスカス近郊の町ダラヤは、2012年以来アサド政権の軍隊によって包囲され、爆撃を受けていました。そのような中、ダラヤの若者たちは、破壊された建物の瓦礫から本を救い出し、町の地下に秘密の図書館を作りました。図書館にない本は、インターネットからダウンロードして利用に供していたそうです。ダラヤの人々はその図書館で、暴力に対する盾として、また「人間であり続けるために」本を読み、安らぎと希望を見いだしていました。ダラヤが政権側の手に渡る2016年までの4年間の記録です。

A. 東部図書館の写真ですよ。



平成30年度 東部図書館 はつらつライブ講座 報告

「知っておきたい 相続・遺言」

講師 黒羽 健司 氏（千葉県金融広報委員会 金融広報アドバイザー）

●1月10日（土）当館3階研修室にて、はつらつライブ講座を開催しました。この講座は、シニア世代の暮らしに関するさまざまな課題を解決するための情報を提供するものです。今回は、講師に黒羽健司（くろは けんじ）氏をお迎えし、25名が参加してお話を伺いました。



講座では、相続の基礎知識と遺言の種類について、わかりやすく解説していただきました。「自分が希望する内容どおりの相続を行うためには、遺言書を残すことが大切。」「相続をスムーズに行うためには、被相続人となる自分が率先して進めていくと良い。」といった先生の言葉に、皆さん熱心に耳を傾けていました。アンケートでは、「非常にわかりやすかった。個人ではここまで深く学習することができないので、ためになった。」「争いを避けるための方策について、遺言の効果を理解できた。」などの声が寄せられました。

※県立図書館では、県民に必要な課題解決支援として、各種講座を開催しています。

平成30年度 千葉県立東部図書館 歴史講座 報告

『『広辞苑の父』 新村出（しんむら いづる）博士の生涯

—佐原で学んだ少年時代から辞書編纂に携わるまで—

講師 新村 恭 氏（新村出記念財団重山文庫囑託・フリーエディター）

●1月12日（土）当館3階研修室にて、歴史講座を開催し、76名の方が参加されました。



『広辞苑』の編纂者として知られる新村出博士について、博士のご令孫である新村恭（しんむら やすし）氏を講師にお招きし、その生涯をテーマにご講演いただきました。

少年時代に約3年間を過ごした佐原の漢学塾での生活や、交流のあった千葉県の三歌人（吉植庄亮、椿一郎、飯田恒治）のことなど千葉県との関わりを交えながら、生い立ち、学問的足跡、広辞苑編纂の経緯など非常に盛りだくさんのお話を伺うことができました。

講座に参加された方々からは、「新村出博士と千葉県の関係を初めて知った。」「生い立ちが詳しく分かり楽しかった。」「親族ならではの話が聞いて興味深かった。」等の感想が寄せられました。

「天保水滸伝の舞台を訪ねる」

～東庄町・
天保水滸伝遺品館～

「天保水滸伝」は、江戸時代末期の天保（1830～1844）年間に、ここ東総の地で繰り広げられた、二人の俠客の争いを描いた郷土の任侠物語です。

天保の頃といえば、大飢饉などで社会不安が増大した時代。この頃、この地に勢力を持つ二人の俠客、岩瀬（笹川）繁蔵と飯岡助五郎の確執が高まりました。



両者の確執は、錦絵にも描かれた「大利根河原の決闘」に発展。このときは、この地に飯岡勢を迎え撃ち、撃退した笹川勢でしたが、後年、繁蔵は飯岡勢の闇討ちに遭い、命を落とすこととなりました。

繁蔵の一の子分である勢力富五郎は、親分繁蔵の仇を討とうとしますが、十手持ちでもある助五郎一家と関東取締出役に追われ、金毘羅山（現・勢力山）に逃れて立て籠もります。その後、52日間も及ぶ逃亡の末、最期は壮絶な自刃を遂げました。

勢力富五郎の52日間にも及ぶ金比羅山への立て籠もりを、中国の四大奇書の一つで梁

山泊を舞台とした「水滸伝」になぞらえたのが、江戸の講釈師の宝井琴凌（たからい きんりょう）でした。以来「天保水滸伝」は、諸説入り交じりながらも、講談、浪曲、歌舞伎、大衆演劇から映画、歌謡曲、小説まで、さまざまな形で現代に至るまで語り継がれてきました。

【天保水滸伝遺品館】

香取郡東庄町にある「天保水滸伝遺品館」には、笹川繁蔵愛用のキセルや三度笠、勢力富五郎の槍や短筒、用心棒平手造酒（ひらてみき）愛用の徳利など、当時の俠客たちの遺品や、繁蔵・助五郎ともに名を連ねている俠客番付表（重要文化財）など天保水滸伝にちなんだ文化財約50点が展示されています。



遺品館の周辺には、ゆかりの遺跡や寺院も点在しています。

- ◆所在地 香取郡東庄町笹川い586
- ◆電話番号 0478-86-6075
- ◆開館時間 午前10時から午後3時
- ◆休館日 月曜日・木曜日
年末年始（12/28～1/4）

■ 県立図書館の資料は、市町立村図書館などを通じて利用することができます。

お近くの図書館、あるいは公民館図書室等の読書施設にご相談ください。

（一部ご利用いただけない施設もございます。各施設にご確認をお願いいたします。）

■ 県立図書館では、千葉県に関する資料を収集しています。

グループ・職場などで資料を発行されたときには、情報をお寄せください。

編集長の独り言

千葉県立図書館3館では、ツイッター(Twitter)を始めました。イベントや本の紹介、資料展示や利用案内などをお伝えします。県立図書館を身近に感じていただけるよう、わかりやすく、楽しく、皆様に関心を持っていただけるよう、情報をお届けします。どうぞご覧ください。〈アカウント名:@chibaken_lib〉

編集・発行：千葉県立東部図書館

〒289-2521 千葉県旭市八の349

TEL 0479-62-7070

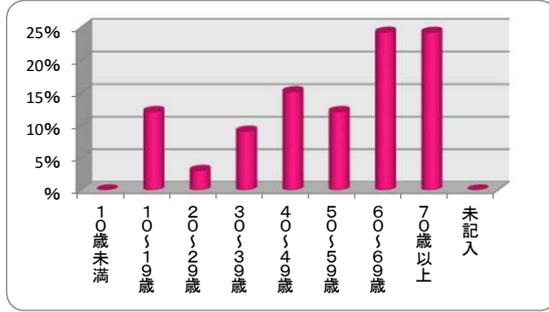
FAX 0479-62-7466

URL：<http://www.library.pref.chiba.lg.jp/>

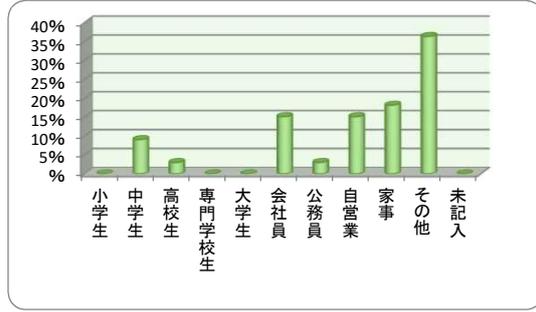
東部図書館 利用者アンケート集計結果

平成30年10月23日～11月4日に実施しましたアンケート調査の結果をご報告します。
アンケート回収枚数は33枚でした。アンケートにご協力いただきまして、ありがとうございました。

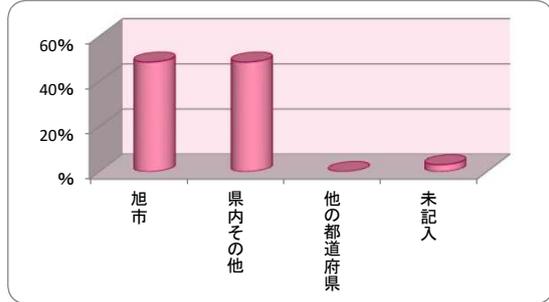
○年齢



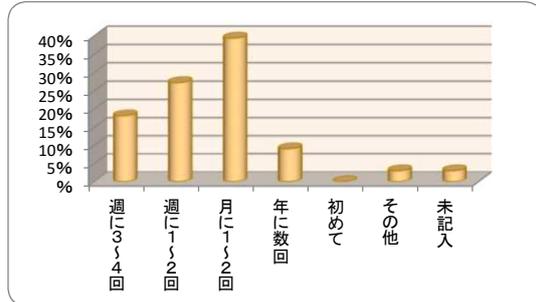
○職業



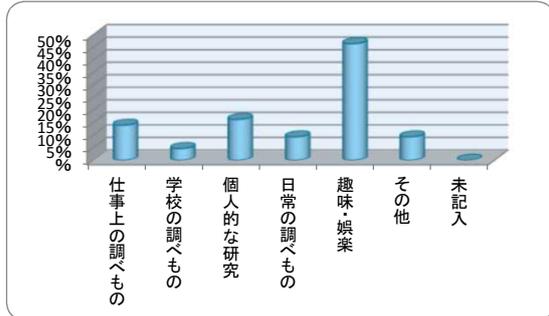
○住所



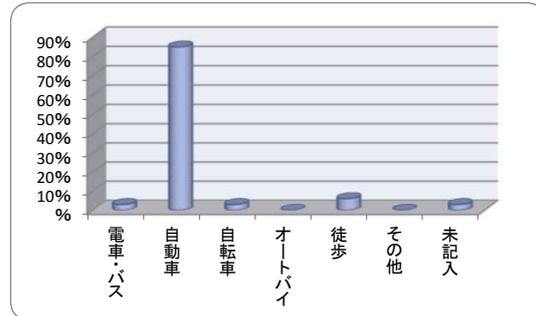
○来館頻度



○来館目的



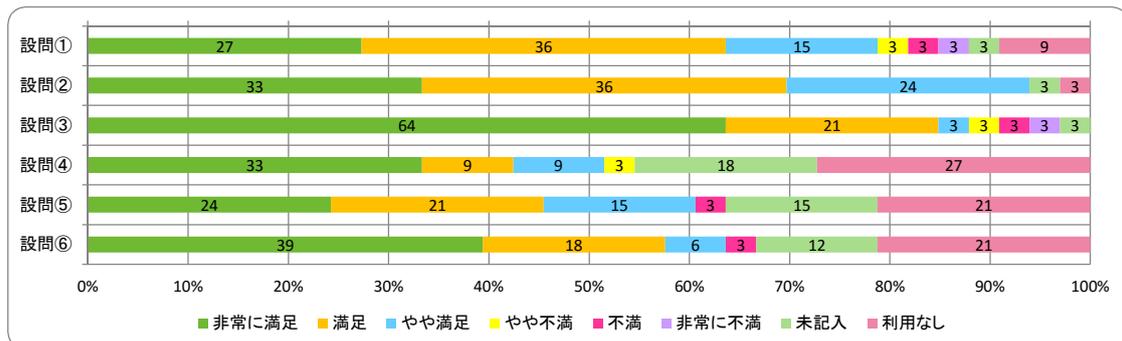
○交通手段



- ・回答者の年齢は、60代の方が約2割で、70歳以上の方も含めると約5割になります。
- ・来館頻度は週に3～4回・1～2回を合わせ46%、月に1～2回が39%となっています。
- ・来館目的では、仕事上・学校・日常の調べものと個人的な研究を合わせ44%、趣味・娯楽が47%となっています。

共通設問

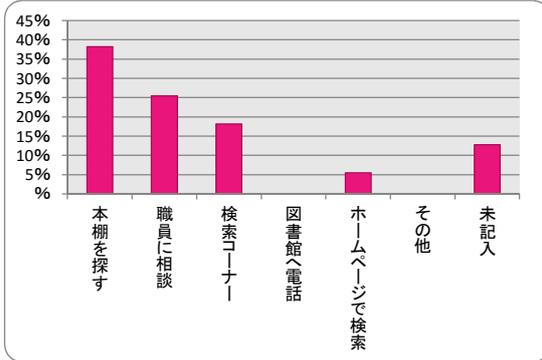
- ①お探しの本(資料)は利用できましたか。
- ②館内案内図や書架の表示、カウンターの表示などは、わかりやすいですか。
- ③職員の対応はいかがですか。
- ④他の図書館からの本の取り寄せの期間や手続きはいかがですか。
- ⑤資料検索機、インターネット等のパソコンでお探しの情報は得られましたか。
- ⑥調べものや探している本のことで、職員に相談したときの回答は的確でしたか。



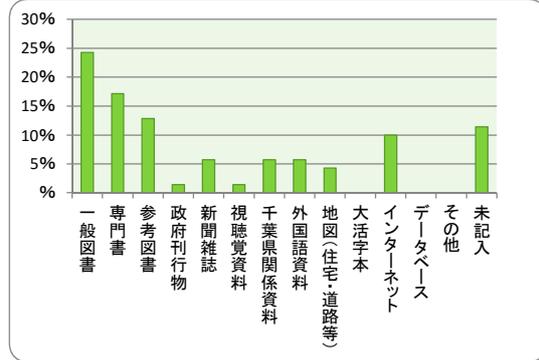
- ・サービス満足度の設問では、職員の対応についての項目が最も評価が高く、8割以上の方に「非常に満足」もしくは「満足」という評価をいただきました。
- ・一方、設問4から設問6では、「利用したことがない」という方も多く見られました。

東部図書館設問

1. 図書館資料は主にどのようにして探しますか。
(複数回答可)

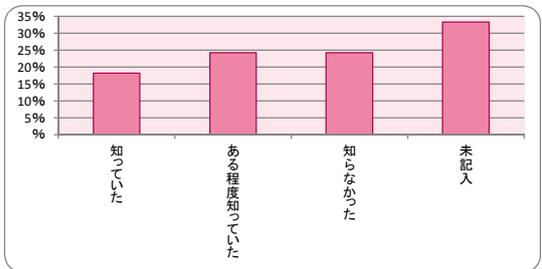


2. どのような図書館資料・情報を利用しますか。
(複数回答可)



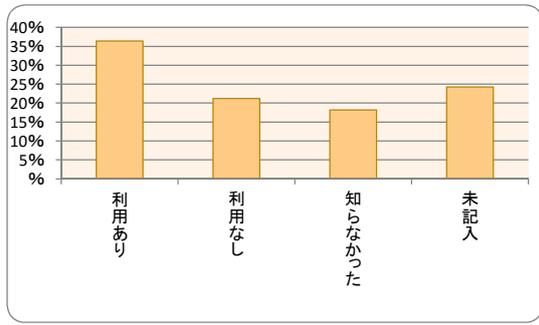
3. 県立図書館では、限られた予算を有効に使うため、各図書館の重点収集分野を以下のように定め、3館での重複を避けた資料収集をしています。

中央図書館: 社会科学など下記以外・千葉県関係・児童資料
 西部図書館: 自然科学・技術・工学
 東部図書館: 文学・歴史

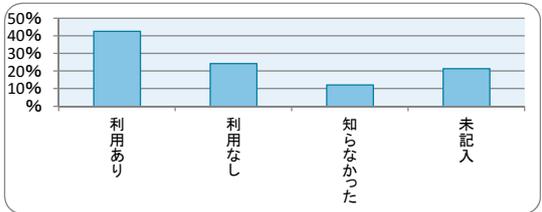


4. 次のサービスを知っていますか。

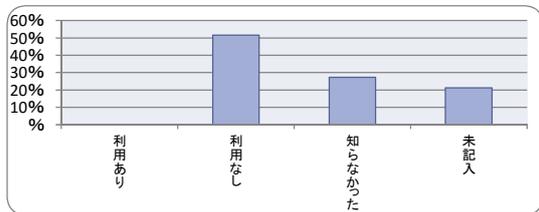
(1) インターネット等で他の図書館の蔵書を調べられる「千葉県内図書館横断検索」



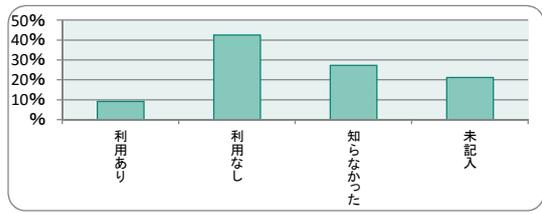
(2) お近くの図書館にない資料の他館からの取り寄せ



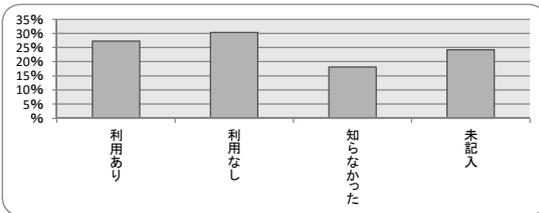
(3) 電子メールによる調査相談「メールレファレンス」



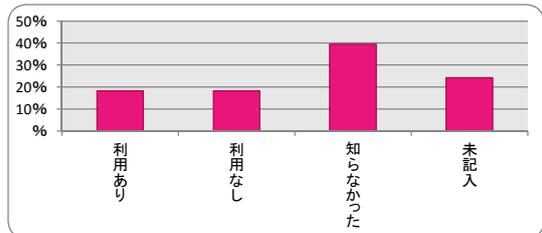
(4) 新聞記事、法律・判例、官報等のデータベース検索



(5) 県立図書館ホームページからの図書予約、貸出期間延長



(6) 調べものの手順を紹介したチラシ「パスファインダー」



利用する資料・情報については、多いものから一般図書24%、専門書17%となりました。また、サービスの認知については、千葉県内図書館横断検索や他館からの資料お取り寄せサービスの認知度が高い一方、メールレファレンス、データベース検索やパスファインダーが認知度が低い結果になりました。